

令和 6 年度

教育に関する事務の点検・評価報告書
(令和 5 年度事業対象)



さくら市教育委員会

目 次

はじめに	．．．．． 3
第 1 章 教育委員会の点検・評価制度の概要	
1 点検・評価制度導入の経緯	．．．．． 4
2 点検・評価の趣旨	．．．．． 4
3 本市の教育委員会評価	．．．．． 4
4 評価のしくみ	．．．．． 5
5 評価対象・実施期間	．．．．． 5
6 評価の方法	．．．．． 5
7 外部評価委員	．．．．． 6
第 2 章 本市の教育目標	
1 基本理念	．．．．． 7
2 教育目標	．．．．． 7
3 基本目標	．．．．． 7
4 基本的な施策	．．．．． 8
第 3 章 教育委員会活動	
1 教育委員会の委員	．．．．． 9
2 教育委員会の会議	．．．．． 9
3 その他の活動	．．．． 1 7
第 4 章 教育委員会施策	
1 基本施策 1 「健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進の評価」	・ 1 9
2 基本施策 2 「芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承」	．．．． 2 4
3 基本施策 3 「確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育」	．．．． 2 7
4 基本施策 4 「充実した生涯スポーツ社会の実現」	．．．． 3 4
第 5 章 総合評価	
1 評価	．．．． 3 7
2 課題と今後の方向性	．．．． 3 7
第 6 章 評価委員による所見	
1 教育委員会外部評価委員会議	．．．． 3 8
2 評価委員による所見	．．．． 3 8

はじめに

教育委員会制度は、首長からの独立、合議制、レイマンコントロールにより、教育の政治的中立性、継続性・安定性の確保や、地域住民の意向の反映を図るため、これまで様々な改正を重ねながら運用され、地方教育行政の基本的な制度として重要な役割を果たしてきました。

このような中、平成20年4月の法改正により、教育委員会の責任体制を明確にし、効果的な教育行政に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的に、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことが義務付けられ、本市においても、平成19年度から独自の点検・評価制度を構築・実施しているところであります。

また、昨今のいじめ問題を契機とした、教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の不足などの課題が指摘されたことから、国において教育委員会の存続を含めた議論がなされた結果、平成27年4月の法改正により教育委員会制度改革が行われ、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化など、教育委員会がその職責を果たすことがますます求められております。

本市教育委員会においても、教育委員会制度改革に伴い、平成29年5月より教育長を代表とする新体制に移行し、総合教育会議などを通じて、市長と教育委員会とのより一層の連携強化を図っているところであります。

また、教育委員会会議において、教育行政にかかる基本方針や計画策定などの重要事項について審議するとともに、教育施設等への視察や教育関係者との懇談会などにより現場の状況を把握し、事務局との意見交換により教育施策への理解を深めながら、教育現場の意向や実態をより反映させた会議の運営に努めております。

本報告書では、令和5年度の教育委員会の活動状況や教育委員会が実施した施策全般について、外部評価委員のご意見等をいただきながら、点検・評価を行った結果をとりまとめました。この結果を今後の更なる効果的な教育行政の推進に活かしてまいります。

令和6年12月

さくら市教育委員会

第1章 教育委員会の点検・評価制度の概要

1 点検・評価制度導入の経緯

平成18年12月に教育基本法が改正され、さらに平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）が一部改正された。この改正を受けて、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表することが新たに規定され実施している。

*** 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正**

この法律は、日本の都道府県・市（特別区を含む）町村における教育行政を規定している法律で、一部改正により、教育委員会は学識経験者の知見を活用し、活動状況の点検・評価を行うことが規定された。

2 点検・評価の趣旨

本市教育委員会は、地教行法第26条に基づき、合議制の教育委員会が決定した教育全体構想に叶った事務を、教育長及び事務局が適切に執行しているかどうかについて、教育委員会事務局自らが「事務事業評価」によりチェックし、改善策を講じる努力を進めているところではあるが、外部の学識経験者による異なる視点からの意見を聴取し、地域住民に対する説明責任を果たすべく、平成19年度から当該点検・評価を実施している。

今後とも検討を加えながら、その趣旨あるいは位置付けに留意した適切な運用を図っていく。

*** 事務事業評価**

市が行う仕事の最も基礎的な単位が「事務事業」である。

平成19年度から、市のすべての事務事業について、目的妥当性・有効性・効率性の視点から評価し、業務改善を行っている。

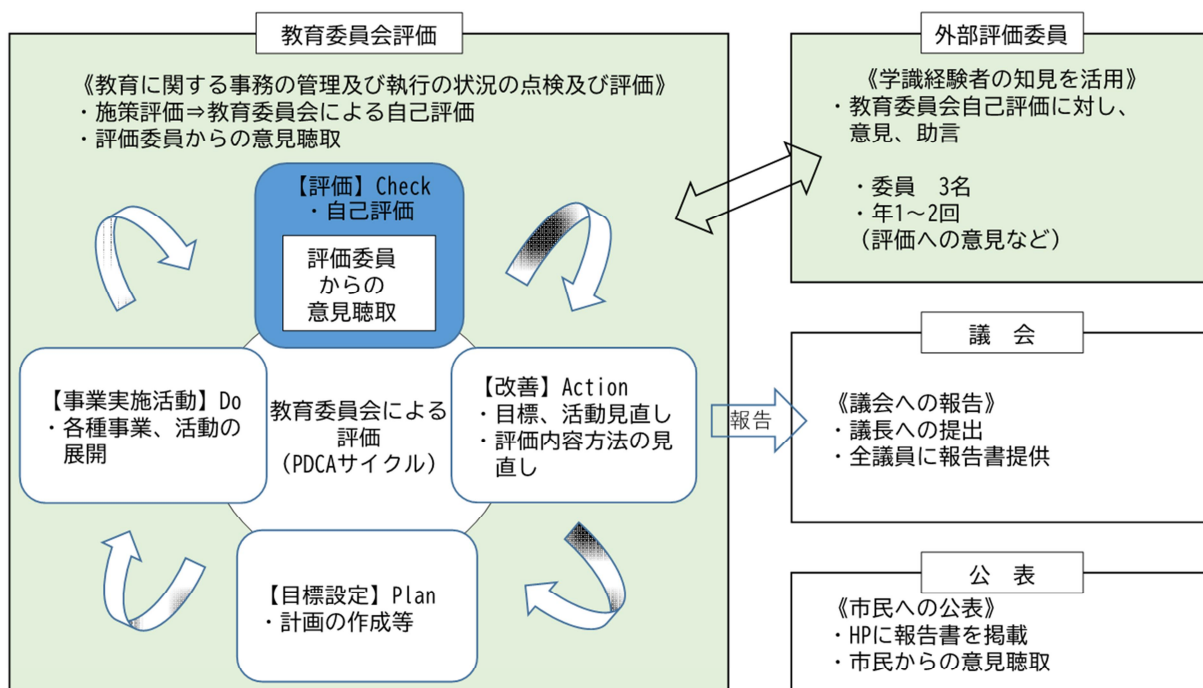
この評価は自ら行うものであり、点検・評価は外部の学識経験者が行う点で、事務事業評価とは異なる。

3 本市の教育委員会評価

本市の評価においては、まず、「第1章 教育委員会の点検・評価制度の概要」において、教育委員会評価に関するしくみや評価方法について記載し、『第2章 本市の教育目標』において、本市が掲げる教育目標を達成するための重点施策を記載する。

次に、本市の教育長と教育委員で構成される《教育委員会》の事務及び活動については『第3章 教育委員会活動』で、また《教育委員会事務局》が実施する施策事業については『第4章 教育委員会施策』により評価を実施する。最後に、『第5章 総合評価』により令和5年度の総合的な評価を実施し、『第6章 外部評価委員による所見』により自己評価に対する外部評価を実施する。

4 評価のしくみ



5 評価対象・実施期間

(1) 対象

令和5年度実施の教育行政全般とする。

◇教育委員会活動

◇教育委員会施策

(2) 実施期間

令和6年4月～12月

6 評価の方法

(1) 自己評価

- ・各主管課及び教育委員会による自己評価の実施
- ・総合的な評価の実施
- ・次年度への課題、今後の方向性の明示

(2) 自己評価に対する評価委員からの意見の聴取

- ・教育委員会外部評価委員会議における意見の聴取
- ・評価表による意見の聴取

7 外部評価委員

氏 名	選出分野	経 歴 ・ 所 属
小 林 邦 夫	学校教育分野 生涯スポーツ分野	さくら市スポーツ協会副会長 さくら市スポーツ推進審議会委員 元栃木県立高校校長
長 嶋 孝 子	生涯スポーツ分野 社会教育分野	オピニオンリーダー 栄養士 元さくら市スポーツ推進委員
高 野 美 智 子	社会教育分野 学校教育分野	さくら市博物館協議会委員 地域と学校を結ぶコーディネーター

第2章 本市の教育目標

1 基本理念

気力・体力・学力No.1

凡事徹底の精神で教育の進化を目指します。

目標を達成するために最も大切なことは小さな努力をこつこつと重ねること。当たり前のことを当たり前にやるのではなく、当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命にやるのが大切です。

2 教育目標

心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、
社会に貢献できる人づくり

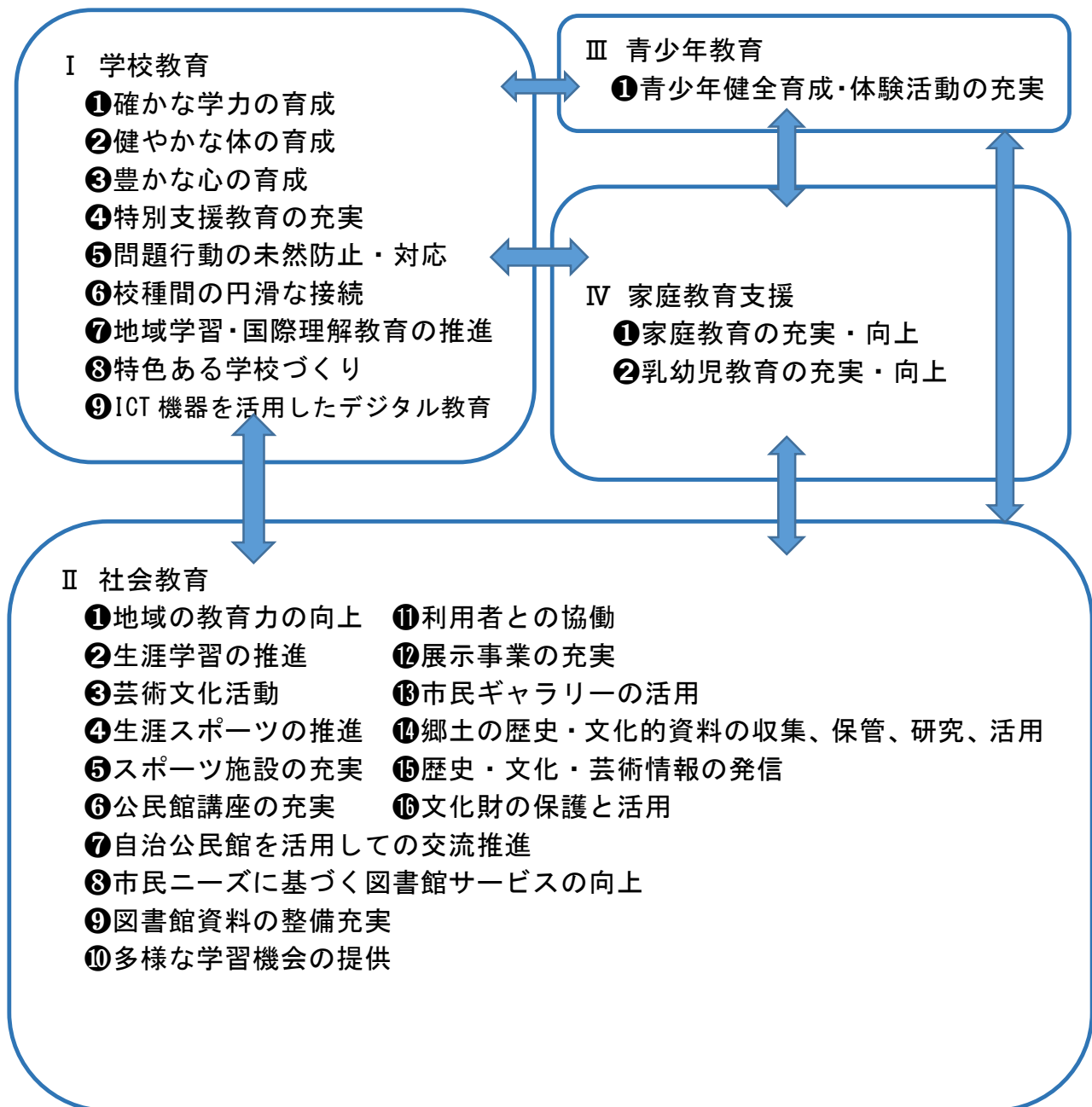
3 基本目標

教育目標の実現を図るために、4つのステージにおいて基本目標を掲げ、実現に取り組んでいます。

分野	基本目標
I 学校教育	一人一人に生きる力の育成を目指す学校教育の充実
II 社会教育	人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実
III 青少年教育	さまざまな体験・交流をとおして、自分のよさをを見つけられる青少年教育の充実
IV 家庭教育支援	自立できる子どもの育成を目指す家庭教育支援の充実

4 基本的な施策

4つのステージにおける基本目標の達成に向けて、それぞれのステージとの相互連携を図りながら、総合的かつ横断的に具体的施策を展開してまいります。



第3章 教育委員会活動

1 教育委員会の委員

平成27年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、新しい教育委員会制度が始まりました。この制度により大綱の策定や首長部局との総合教育会議の開催を通じて、地方公共団体の長と教育委員会が十分に意思疎通を図り、より一層の民意を反映した教育行政の推進が求められるようになりました。

さくら市の教育委員は5名で構成されています。4名の委員は市議会の同意を得て市長が任命し、任期は4年です。教育行政の重要事項の審議及び意思決定を担います。

教育長においても、市議会の同意を得て市長が任命し、任期は3年です。教育委員会の会務を総括し、権限に属する具体の事務を執行します。

(令和6年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	橋 本 啓 二	令和5年7月1日～令和8年6月30日
教育長職務代理者	森 島 仁	令和3年5月24日～令和7年5月23日 (令和6年3月31日で退職)
委 員	中 村 浩 之	令和6年5月24日～令和10年5月23日
委 員	岡 崎 真 紀	令和4年5月24日～令和8年5月23日
委 員	稲 見 純 子	令和5年6月26日～令和9年6月25日

2 教育委員会の会議

原則的には8月を除き月1回の頻度で定例会を、緊急的な事案が発生した場合は臨時会を開催しました。

定例・臨時		議案件数	報告件数	その他
定例会	11回	36件	49件	0件
臨時会	1回	1件	0件	0件

令和 5 年度教育委員会付議案検討一覧

◇令和 5 年 4 月教育委員会【定例会】（令和 5 年 4 月 2 0 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	後援名義使用承認申請について
	議案第 2 号	さくら市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について
	議案第 3 号	さくら市図書館協議会委員の任命について
報告	報告第 1 号	学校薬剤師の変更について
	報告第 2 号	後援名義使用許可について
	報告第 3 号	さくら市生涯学習推進協議会委員名簿
	報告第 4 号	さくら市青少年センター運営協議会委員名簿
	報告第 5 号	さくら市青少年センター少年育成サポーター名簿
	報告第 6 号	子ども読書推進計画策定委員名簿
	報告第 7 号	さくら市社会教育指導員名簿
	報告第 8 号	さくら市青少年センター少年指導員名簿
	報告第 9 号	さくら市学校運営協議会委員名簿
	報告第 10 号	スポーツ推進委員名簿
	報告第 11 号	さくら市スポーツ推進審議会建議について
	報告第 12 号	さくら市教育委員会事務局組織の一部改正について
	報告第 13 号	令和 5 年度さくら市喜連川 B&G 海洋センター開場について
	報告第 14 号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について
	報告第 15 号	区域外就学の承認について

◇令和 5 年 5 月教育委員会【定例会】（令和 5 年 5 月 2 5 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	令和 5 年度博物館協議会委員名簿について
	議案第 2 号	区域外就学の承認について
報告	報告第 1 号	令和5年度さくら市教育支援委員会委員名簿について
	報告第 2 号	令和5年度少年指導員会少年育成サポーター名簿について

◇令和 5 年 6 月教育委員会【定例会】（令和 5 年 6 月 1 9 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	新給食センター開設準備検討委員会設置規則の制定について
	議案第 2 号	さくら市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について
	議案第 3 号	さくら市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則の一部改正について
	議案第 4 号	文化財保護審議会委員の委嘱について
	議案第 5 号	区域外就学の承認について
報告	報告第 1 号	総合公園プール休場に伴う代替措置について

◇令和 5 年 7 月教育委員会【定例会】（令和 5 年 7 月 2 1 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	令和 6 年度使用教科用図書の採択について
	議案第 2 号	令和 5 年 9 月補正について
	議案第 3 号	令和 5 年 9 月補正について
	議案第 4 号	区域外就学の承認について
報告	報告第 1 号	さくら市給食センター開設準備検討委員の選定について
	報告第 2 号	さくら市社会教育指導員の退職について
	報告第 3 号	後援名義使用許可について
	報告第 4 号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について

◇令和 5 年 9 月教育委員会【定例会】（令和 5 年 9 月 2 2 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	後援名義使用許可について（㈱セブンハンドレッド）
	議案第 2 号	区域外就学の承認について
報告	報告第 1 号	給食センター整備事業について
	報告第 2 号	後援名義使用許可について（PTA 協議会）
	報告第 3 号	後援名義使用許可について（塩谷地区特別支援教育振興会）
	報告第 4 号	後援名義使用許可について（宮城復興支援センター）
	報告第 5 号	後援名義使用許可について（特定非営利法人人権センターとちぎ）
	報告第 6 号	社会教育指導員の任命について
	報告第 7 号	後援名義使用許可について（日本オービス㈱）
	報告第 8 号	後援名義使用許可について（さくら市バスケットボール協会）
	報告第 9 号	後援名義使用許可について（氏家ライオンズクラブ）
	報告第 10 号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について

◇令和 5 年 1 0 月教育委員会【定例会】（令和 5 年 1 0 月 3 0 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	1 2 月補正予算要求について
	議案第 2 号	区域外就学の承認について
	議案第 3 号	後援名義使用許可について（たかはらさくら青年会議所）
報告	報告第 1 号	後援名義使用許可について（さくら市社会福祉協議会）

◇令和 5 年 1 1 月教育委員会【定例会】（令和 5 年 1 1 月 2 2 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	教育委員の辞職について
	議案第 2 号	学校整備基金条例の一部改正について
	議案第 3 号	1 2 月補正予算要求について
	議案第 4 号	区域外就学の承認について

報告	報告第 1 号	後援名義使用許可について（さくら市サッカー協会）
	報告第 2 号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について

◇令和 5 年 1 2 月教育委員会【定例会】（令和 5 年 1 2 月 2 1 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	区域外就学の承認について
報告	報告第 1 号	後援名義使用許可について（NPO 法人キーデザイン）
	報告第 2 号	第三次さくら市子ども読書活動推進計画（案）について
	報告第 3 号	要保護・準要保護、児童・生徒の認定について

◇令和 6 年 1 月教育委員会【定例会】（令和 6 年 1 月 2 6 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	令和 6 年 3 月補正予算要求について
	議案第 2 号	区域外就学の承認について
報告	報告第 1 号	スポーツ大会に出場する者の財政的支援手続きの在り方について
	報告第 2 号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について

◇令和 6 年 2 月教育委員会【定例会】（令和 6 年 2 月 2 0 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	令和 6 年度当初予算について
	議案第 2 号	アレルギー対応委員会設置規則の制定について
	議案第 3 号	共催承認申請について（民謡民舞大会）
	議案第 4 号	共催承認申請について（茶華道展）
	議案第 5 号	区域外就学の承認について
報告	報告第 1 号	令和 5 年度教育に関する事務の点検・評価報告書について
	報告第 2 号	小中学校屋内運動場エアコン設置について
	報告第 3 号	後援名義申請について（若年者支援機構）
	報告第 4 号	後援名義申請について（栃木県ハーモニカ協会）
	報告第 5 号	後援名義申請について（氏家少年少女合唱団）
	報告第 6 号	スポーツ大会に出場する者の財政的支援手続きの在り方について
	報告第 7 号	要保護・準要保護、児童・生徒の認定について

◇令和 6 年 3 月教育委員会【臨時会】（令和 6 年 3 月 8 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	令和 6 年度小中学校職員定期異動について

◇令和 6 年 3 月教育委員会【定例会】（令和 6 年 3 月 2 5 日）

種別	議案番号	件 名
議案	議案第 1 号	教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について
	議案第 2 号	新給食センター開設準備検討委員会設置規則の一部改正について
	議案第 3 号	令和 6 年度博物館協議会委員の委嘱について
	議案第 4 号	スポーツ大会出場補助金交付要綱の廃止について
	議案第 5 号	区域外就学の承認について
報告	報告第 1 号	市内プール最適化基本方針について
	報告第 2 号	要保護・準要保護、児童・生徒の認定について

○総合教育会議

第1回会議 6月19日（月）午後1時30分～ 市役所本庁舎3階委員会室

出席者：市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員3名

事務局 総合政策部長、総合政策課長、総合政策課秘書広報戦略室長
教育次長、学校教育課長、生涯学習課長、ミュージアム館長
スポーツ振興課長、学校教育課長補佐

議題	1	さくら市教育大綱・教育振興基本計画について
	2	部活動の地域移行について
	3	これからの給食費について

第2回会議 10月30日（金）午前9時00分～ 市役所本庁舎3階委員会室

出席者：市長、副市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員3名

事務局 総合政策部長、参事、総合政策課長、総合政策課秘書広報戦略室長、秘書係長
教育次長、学校教育課長、生涯学習課長、ミュージアム館長
スポーツ振興課長、学校教育課長補佐

議題	1	さくら市教育大綱・教育振興基本計画について
	2	人権教育総合推進地域事業について
	3	社会体育施設の在り方について
	4	さくら市ミュージアム長寿命化修繕について

○後援名義使用許可件数

申請件数 19 件 許可件数 18 件

No	付議会議	申請者名	事業名	結果
1	4 月定例会	第 1 9 回栃木県人権研究集会実行委員会	第 1 9 回栃木県人権研究集会	承認
2	5 月定例会	第 1 5 回雨情音楽祭実行委員会	第 1 5 回雨情音楽祭	承認
3	7 月定例会	(株) セブンハンドレッド	JGA WAG スクール 1 Day プログラム	承認
4	7 月定例会	さくら市バスケットボール協会	第 1 5 回さくら市バスケットボール協会長杯さくらカップミニバスケットボール大会	承認
5	9 月定例会	さくら市 PTA 連絡協議会	愛のパトロール	承認
6	9 月定例会	日本オービス (株)	2 0 2 4 さくら市親子ふれあい絆マラソン	承認
7	9 月定例会	さくら市バスケットボール協会	さくら市バスケットボール協会長杯中学生バスケットボール大会 (さくらカップ)	承認
8	9 月定例会	特定非営利法人人権センターとちぎ	第 2 5 回栃木県ヒューマンライツセミナー	承認
9	9 月定例会	氏家ライオンズクラブ	第 4 0 回少年少女武道大会 (剣道、空手、柔道)	承認
10	9 月定例会	塩谷地区特別支援教育振興会長	第 4 5 回塩谷地区「仲よし運動会」	承認
11	9 月定例会	(株)セブンハンドレッド	FIFG WORLD TOUR JAPAN FOOTGOLF INTERNATIONAL OPEN2023	承認
12	9 月定例会	宮城復興支援センター	国際交流&イングリッシュキャンプ	不承認
13	10 月定例会	さくら市サッカー協会	第 1 9 回さくらカップジュニアユース大会	承認
14	10 月定例会	社会福祉法人さくら市社会福祉協議会	子育て講演会	承認
15	10 月定例会	たかはらさくら青年会議所	創立 50 周年記念事業『将来への鍵』	承認
16	11 月定例会	NPO 法人キーデザイン	起立性調節障害を知ろう！映画「今日も負け犬」上映会&トークイベント	承認
17	2 月定例会	栃木県ハーモニカ協会	第 11 回栃木県ハーモニカ交流コンサート	承認

18	2 月 定例会	氏家少年少女合唱団	第 3 7 回氏家少年少女合唱団定期演奏会	承認
19	2 月 定例会	学校以外の場を共につくる・とちぎネットワーク	教育機会確保法と新しい不登校支援 COCOLO プランについて知ろう講演会	承認

3 その他の活動

(1) 各種行事への出席や学校訪問等

各種スポーツ大会や、二十歳のつどい、入学式、卒業式、教職員辞令交付式などの各種式典に出席をしました。

(2) 委員研修等

日々教育を取り巻く環境が変化する中、教育上の諸課題に対する委員の共通認識を図りながら、委員の資質を高めるため研修等を実施しました。

事業名	期 日	場 所	内 容
令和5年度 塩谷南那須地区 教育委員会連合会 研修会	9月16日	栃木県庁 塩谷庁舎	演題：「AI技術の進化による新たな学校教育の展望」 講師：宇都宮大学共同教育学部 教授 川島 芳昭 氏
栃木県市町村 教育委員会連合会 研修会	11月8日	栃木県庁 研修館「講堂」	演題：「部活動地域移行について」 講師：新潟県長岡市学校教育課 総括副主幹 石川 智雄 氏
小中一貫教育における相互授業参	11月22日	氏家小学校	氏家小学校で実施した小中一貫教育における相互授業参観の視察
令和5年度 市町村教育委員会 研究協議会	12月21日	オンライン	教育委員会運営の活性化のため、全国の他市町村の教育委員と意見交換を行った。

第4章 教育委員会施策

本市で実施している行政評価を活用しながら、第2次総合計画（後期基本計画）に掲げた4つの基本施策を構成する18の基本事業ごとの評価を実施する。

基本施策1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進

- 基本事業（1）学ぶ機会の充実
- 基本事業（2）青少年の健全育成
- 基本事業（3）家庭教育支援の充実
- 基本事業（4）読書活動の推進
- 基本事業（5）課外「さくらスクール」による学びの推進

基本施策2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承

- 基本事業（1）芸術文化活動の推進
- 基本事業（2）歴史的文化的資源の保存・継承・利活用
- 基本事業（3）ミュージアムの充実

基本施策3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育

- 基本事業（1）確かな学力の育成
- 基本事業（2）ICT教育の実践
- 基本事業（3）豊かな心の育成
- 基本事業（4）健やかな体の育成
- 基本事業（5）特別支援教育の充実
- 基本事業（6）安全・安心な教育環境の実現
- 基本事業（7）英語教育の充実

基本施策4 充実した生涯スポーツ社会の実現

- 基本事業（1）生涯スポーツ活動の充実
- 基本事業（2）スポーツ施設の整備
- 基本事業（3）スポーツ団体・指導者の育成

<施策指標の評価及び総合評価>

区 分	A	B	C
①施策指標の達成度	100%以上	70～100%未満	70%未満
②主要な構成事業の進捗状況	達成・概ね達成した	多少は達成した	達成できず

総合評価	順調	概ね順調	やや遅れ
	A評価が50%以上	A・B評価が50%以上	左記以外

基本施策 1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進

施策の目指す姿

生涯にわたる学びの機会とその成果を活かす場があり、豊かな心を持ち、生きがいに満ちた市民が増加しています。

指標名	現状値	目標値	実績値
自主的な生涯学習活動に参加している市民の割合	24.3% (R2 年度)	32.0% (R7 年度)	26.4% (R5 年度)

基本事業（１）学ぶ機会の充実

施策目標	市民の生涯学習の機会が充実しています。				
指標名		現状値	目標値	実績値	評価
生涯学習講座・イベントの参加者数		21,926 人 (R1 年度)	22,600 人 (R7 年度)	14,292 人 (R5 年度)	C
関連する事務事業名		でまえ学び塾開催事業			
事業概要	市民や市職員等の講師を集会所等に派遣する。講師料は無料、材料費等は自己負担となる。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
利用者数		2,760 人	2,697 人	多少は達成した	B
達成度の評価と説明		新型コロナウイルス感染症の制限緩和により、高齢者施設等での利用が増加し、利用者にとってはどこにいても利用できる充実した学びの機会を提供できた。また、講師を務める市民にとっては、自分の学んだ成果を活用する場として、生涯学習の振興が図られた。			
具体的な改善策		新規講師の登録を進めることによって、市民のニーズに対応する選択肢を広げるための環境を整備する。			
関連する事務事業名		生涯学習講座・大会開催事業			
事業概要	“まちづくりリーダー”の育成を目的とし、連続講座を開催する。生涯学習振興大会を開催し、市民が生涯学習にふれる機会を提供する。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
市民大学延べ参加者数		109 人	94 人	多少は達成した	B
生涯学習振興大会来場者数		353 人	230 人		
達成度の評価と説明		市民大学は、防災の知識を身に付けるとともに、日頃の地域のつながりづくりや人権的配慮について学べる講座（全7回）を開催した。生涯学習振興大会は、元バレーボール日本代表の益子直美氏を迎え、講演会を実施した。			
具体的な改善策		特になし			
総合評価		概ね順調（A・B評価が50%以上）			

基本事業（２）青少年の健全育成

施策目標	様々な体験活動、研修等を通して、青少年が健やかに成長しています。				
指標名		現状値	目標値	実績値	評価
青少年育成事業における体験活動への児童・生徒の延べ参加者数		411 人 (R1 年度)	600 人 (R7 年度)	264 人 (R5 年度)	C
関連する事務事業名		青少年センター事業			
事業概要	課内に青少年センターを設置し、青少年健全育成事業を行う。運営協議会委員、少年育成サポーター、少年指導員に報酬等を支給する。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
青少年センター事業に参加した人数		876 人	723 人	達成、概ね達成した	A
少年育成サポーター数		22 人	23 人		
達成度の評価と説明		少年育成サポーターが体験活動班、ネット研究班、広報啓発班、研修班を編成し、体験活動や研修会の開催、広報紙「夢咲楽～和輪話通信～」の発行、全体活動としてあいさつ巡回活動（小・中・高等学校）を行い、青少年健全育成の推進が図られた。			
具体的な改善策		特になし			
関連する事務事業名		子ども会連合会育成補助事業			
事業概要	子ども会活動や研修等に対し補助金による支援を行う。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
活動日数		19 日	24 日	達成、概ね達成した	A
会員数		2,708 人	2,542 人		
達成度の評価と説明		新型コロナウイルス感染が5類に移行し、子ども会の事業もおおむね実施できた。それにより、子ども会活動の充実が図られた。補助金交付により、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。			
具体的な改善策		特になし			
総合評価		順調（A評価が 50%以上）			

基本事業（３）家庭教育支援の充実

施策目標	子ども達を育む家庭の教育力が向上しています。				
指標名		現状値	目標値	実績値	評価
家庭教育支援に関する講座や学級、研修会等の延べ参加者数		1,735 人 (R1 年度)	2,000 人 (R7 年度)	1,888 人 (R5 年度)	A
関連する事務事業名		社会教育・家庭教育支援事業			
事業概要	家庭教育を支援するために、家庭教育オピニオンリーダーや家庭教育学級生のボランティアを中心に「家庭教育支援チーム」を組織し、家庭教育の重要性を啓発する。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
家庭教育講座・講習の実施回数		15 回	15 回	達成、概ね達成した	A
家庭教育講座の参加者数		1,224 人	1,099 人		
達成度の評価と説明		親子応援講座を市内6小学校で、親子学び合い事業（ネット時代の歩き方講習会）を市内7校で、就学前の学習・生活体験を2回実施するなど、計15回の講座や研修を開催した。また、家庭教育の普及啓発を図るために家庭教育関連冊子の発行等を行った。			
具体的な改善策		特になし			
総合評価		順調（A評価が 50%以上）			

基本事業（４）読書活動の推進

施策目標	本に触れる機会・読書を通じて学ぶ機会が充実しています。				
指標名		現状値	目標値	実績値	評価
図書館の利用者数		165, 827 人 (R 1 年度)	167, 000 人 (R7 年度)	127, 935 人 (R4 年度)	B
関連する事務事業名		図書館管理事業			
事業概要	平成 27 年度から指定管理者制度に移行した。施設管理ほか、資料収集、相互貸借、レファレンス業務、おはなし会や各種講座開催等の事業を市と協議の上、実施する。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
年間貸出点数（図書、雑誌、A V 資料）		291, 374 点	286, 812 点	多少は達成した	B
年間講座参加者数		3, 026 人	4, 114 人		
達成度の評価と説明		講座参加者数について、新型コロナウイルス感染症対策による制限が緩和され、より多くの市民が参加できる内容を実施したことで、令和4年度と比較し大幅に増加した。			
具体的な改善策		特になし			
総合評価		概ね順調（A・B 評価が 50%以上）			

基本事業（５）課外「さくらスクール」による学びの推進

施策目標	課外での学びの場で、児童・生徒の確かな学力・豊かな心・健やかな身体が育まれています。				
指標名		現状値	目標値	実績値	評価
課外「さくらスクール」の延べ参加者数		5,289 人 (R1 年度)	7,000 人 (R7 年度)	7,387 人 (R5 年度)	A
関連する事務事業名		課外「さくらスクール」事業			
事業概要	課外「さくらスクール」～さくら未来塾～を開設し、学力アップコース（小・中学生）と体験コース（小学生）により子ども達に多くの学びの機会を提供する。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
申込児童・生徒数		551 人	560 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明		学力コースにおいては地域の学習サポーターの支援により、参加児童の学力アップや学習意欲の向上を図ることができた。また、体験コースにおいては、児童が様々な体験を行う中で多くの学びの機会を得ることができた。			
具体的な改善策		特になし			
総合評価		順調（A評価が 50%以上）			

基本施策 2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承

施策の目指す姿

市民が、地域の芸術・文化・歴史に触れることにより、さくら市での暮らしを楽しんでいます。

指標名	現状地	目標値	実績値
芸術・文化・歴史に関する事業に参加している市民の割合	44.7% (R2 年度)	45.0% (R7 年度)	39.5% (R5 年度)

基本事業（１）芸術文化活動の推進

施策目標	多くの市民が芸術文化に関する活動を行っています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
文化振興事業の参加者数	3,380 人 (R1 年度)	6,000 人 (R7 年度)	6,116 人 (R5 年度)	B
関連する事務事業名	定期文化事業			
事業概要	定期的に文化芸術の良さ素晴らしさが市民に伝わるような文化振興事業を実施。幅広く質の高い出演者を選定し、市民への参加選択肢を広げる。			
指標名	R4 実績	R5 実績	達成度	評価
定期文化事業参加者数	3,080 人	3,793 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	計画通りの事業を実施し、目標3,300人に対し3,793人と目標を達成することができた。			
具体的な改善策	高くなる市民ニーズに応えるため、歳入の確保、あるいは限りある予算で効果的な催物の実施方法について検討する。			
関連する事務事業名	児童生徒対象文化芸術振興事業			
事業概要	各校に内容や日程の調整を実施して、候補となる芸術家に交渉、実施の運びとなる。小学校は 45 分間、中学校 50 分程度の芸術鑑賞機会の提供を行う。			
指標名	R4 実績	R5 実績	達成度	評価
音楽鑑賞教室に参加した児童・生徒の数	2,234 人	2,323 人	多少は達成した	B
達成度の評価と説明	市内小中学校の児童生徒に質の高い芸術鑑賞機会を提供することができた。			
具体的な改善策	多様な芸術文化の鑑賞機会が提供できるよう予算の確保や実施方法について検討する。			
総合評価	概ね順調（A・B 評価が 50%以上）			

基本事業（２）歴史的文化的資源の保存・継承・利活用

施策目標	歴史的文化的財が適正に保存・継承・利活用され、興味・関心を持つ市民が増加しています。				
指標名		現状値	目標値	実績値	評価
市内の文化財に親しんだ市民の割合		15.8% (R2 年度)	20.0% (R7 年度)	26.7% (R5 年度)	A
市民が認知する市内の主要な文化財等の数（全 10 件）		3.7 件 (R2 年度)	4.5 件 (R7 年度)	4.1 (R5 年度)	B
関連する事務事業名		さくら市歴史資料保存・活用事業			
事業概要	氏家町史・喜連川町史編さん事業で収集した歴史資料を整理保存する。 市内の歴史資料調査を継続して実施し、収集を行う。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
保存された延べ歴史資料数		10,297 点	10,633 点	達成、概ね達成した	A
今年度収蔵の歴史資料		385 点	336 点		
達成度の評価と説明		令和 4 度は歴史的行政文書 385 点を収蔵した。			
具体的な改善策		令和5年度は歴史的行政文書336点を収蔵した。 B&G財団の助成を受けて歴史マンガ「足利島子」を刊行した。市内各学校へ配布し、歴史教育に活用してもらい、一般販売も行い、さくら市の歴史を広く周知する。			
関連する事務事業名		瀧澤家住宅保存事業			
事業概要	県指定文化財瀧澤家住宅を保護や維持管理をしながら平成 27 年度に策定した利活用計画や平成 29 年度策定予定の整備計画に従い、修理や整備、利活用を行う。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
利用者数		7,622 人	4,135 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明		市内外で活動する市民・団体等の活動発表の場として活用することで多くの来館者があり、周辺の活性化や、文化財としての建物の周知につながった。 保存に必要な修繕・工事（中庭板塀の修繕、火災報知設備改修等）を実施した。			
具体的な改善策		文化財修繕以外にまちづくり等を含んだ各種補助金の獲得。			
総合評価		順調（A 評価が 50% 以上）			

基本事業（３）ミュージアムの充実

施策目標	さくら市ミュージアム―荒井寛方記念館―の展示内容・収蔵資料が充実し、多くの市民に親しまれています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
ミュージアムの来館者数	22,706 人 (R1 年度)	25,000 人 (R7 年度)	32,303 人 (R5 年度)	A
ミュージアムの収蔵資料数	34,624 点 (R1 年度)	34,734 点 (R7 年度)	29,191 点 (R5 年度)	B
ミュージアムの企画展観覧者の満足度	96.0% (H30 年度)	96.0% (R7 年度)	98.7% (R5 年度)	A
関連する事務事業名	特別・企画展等開催事業			
事業概要	テーマを持たせた資料観覧の機会を提供する。 ①企画展の開催 ②ギャラリー・トーク ③作品解説会・講演会			
指標名	R4 実績	R5 実績	達成度	評価
特別・企画展入館者数	17,495 人	32,303 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	R5年度を開館30周年記念と位置づけ、記念行事等を増やして展示業務を行った。年間の入館者数は32,303人と指標を上回った。			
具体的な改善策	企業協賛や、共催運営を検討するとともに、展覧会の回数、内容等を見直す。			
関連する事務事業名	博物館作品購入等事業			
事業概要	郷土の歴史や美術に関わりの深い資料や作品を未来に残すために購入する。併せて収蔵資料を拡充しながらこれらを企画展等により一般に公開する。			
指標名	R4 実績	R5 実績	達成度	評価
購入並びに寄託、寄贈資料・作品収蔵数	29,119 点	29,191 点	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	博物館活動に必要な、資料・作品の収蔵が行われた。美術作品10点の寄贈、1点の寄託、歴史資料43点の寄贈、歴史資料18点の移管があった。			
具体的な改善策	学芸員の調査研究、現地調査の機会を増やしていく。			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

基本施策 3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育

施策の目指す姿

児童・生徒が学校で楽しく学びながら県内トップクラスの気力・体力・学力を身につけます。

指標名	現状値	目標値	実績値
学校に行くのが楽しいと思っている児童の割合	91.1% (H29 年度)	92.0% (R7 年度)	91.4% (R5 年度)
学校に行くのが楽しいと思っている生徒の割合	85.3% (H29 年度)	87.0% (R7 年度)	86.1% (R5 年度)

基本事業（1）確かな学力の育成

施策目標	児童・生徒の確かな学力が育成されています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小学校 6 年生の国語の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	5.0Pt (R1 年度)	5.0Pt (R7 年度)	3.0Pt (R5 年度)	C
小学校 6 年生の算数の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	3.0Pt (R1 年度)	3.0Pt (R7 年度)	3.0Pt (R5 年度)	A
中学 3 年生の国語の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	0.2Pt (R1 年度)	1.0Pt (R7 年度)	2.0Pt (R5 年度)	A
中学 3 年生の数学の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	-1.8Pt (R1 年度)	0Pt (R7 年度)	2.0Pt (R5 年度)	A
関連する事務事業名	小中学校総合学力調査事業			
事業概要	全国学力学習状況調査の結果についてリーフレットを作成し、教科指導の計画に活かす。			
指標名	R4 実績	R5 実績	達成度	評価
調査結果を分析し授業改善等に生かしている学校の割合	100%	100%	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	国の学力学習状況調査結果のリーフレットを作成し、教育施策及び学校・学級・教科指導の計画に生かすことができた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A 評価が 50% 以上）			

基本事業（２）ＩＣＴ教育の実践

施策目標	児童・生徒が I C T教材を活用して効果的に学習しています。				
指標名		現状値	目標値	実績値	評価
I C Tを活用して児童・生徒を指導する能力が備わっている教師の割合		82.5% (R1年度)	90.0% (R7年度)	81.8% (R5年度)	C
関連する事務事業名		学校 I C T管理事業			
事業概要	学校において校務、学習等に使用する ICT 機器・ソフトウェアの管理を行う。 国の GIGA スクール構想を推進する。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数		1 台	1 台	達成、概ね達成した	A
普通教室の無線 LAN 整備率		100%	100%		
達成度の評価と説明		学習者用PCの修繕及び追加購入、APを適切に管理することで、一人一台の学習者用PC環境を維持することができた。			
具体的な改善策		特になし			
総合評価		順調（A評価が 50%以上）			

基本事業（３）豊かな心の育成

施策目標	児童・生徒の豊かな心が育成されています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小学校でいじめが解消した割合	81.2% (R1年度)	100.0% (R7年度)	83.0% (R5年度)	B
中学校でいじめが解消した割合	100.0% (R1年度)	100.0% (R7年度)	77.0% (R5年度)	B
小学校の学校図書室の児童１人当たりの年間貸出冊数	41.6冊 (R1年度)	45.0冊 (R7年度)	66.1冊 (R5年度)	A
中学校の学校図書室の児童１人当たりの年間貸出冊数	10.7冊 (R1年度)	12.0冊 (R7年度)	10.6冊 (R5年度)	B
関連する事務事業名	スクールカウンセラー活用事業			
事業概要	市費で小中学校８校に４人のスクールカウンセラーを派遣するほか、臨床心理士、スクールソーシャルワーカーによる相談等を行う。			
指標名	R4 実績	R5 実績	達成度	評価
市費スクールカウンセラー派遣時間	1,092 回	1,092 回	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	特に配慮が必要な児童生徒が安定した学校生活を送れるようにすることができた。また、悩みがある保護者のカウンセリングを実施した。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	概ね順調（A・B評価が50%以上）			

基本事業（４）健やかな体の育成

施策目標	児童・生徒の健やかな体が育成されています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小学５年生の体力・運動能力調査の全国平均点との差	-0.1 点 (R1 年度)	4.0 点 (R7 年度)	0.65 点 (R5 年度)	C
中学２年生の体力・運動能力調査の全国平均点との差	-1.2 点 (R1 年度)	0 点 (R7 年度)	0.59 点 (R5 年度)	A
総合評価	順調（A評価が 50%以上）			

基本事業（５）特別支援教育の充実

施策目標	障がいのある児童・生徒が障がいの程度にあわせたきめ細やかな教育を受けています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
特別支援教室担当非常勤講師１人当たりの特別支援教室在籍児童・生徒数	7.1 人 (R2 年度)	6.0 人 (R7 年度)	9.5 人 (R5 年度)	C
総合評価	やや遅れ			

基本事業（６）安全・安心な教育環境の実現

施策目標	児童・生徒が安全・安心な教育環境で学んでいます。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小中学校の校舎・施設の長寿命化改修件数	0 件 (R2 年度)	3 件 (R7 年度)	2 件 (R5 年度)	C
施設維持管理上の不備による教育支障件数	0 件 (R1 年度)	0 件 (R7 年度)	0 件 (R5 年度)	A
児童・生徒が登下校時に巻き込まれた事件・事故件数	4 件 (R1 年度)	0 件 (R7 年度)	15 件 (R5 年度)	C
関連する事務事業名	小学校施設補修整備事業			
事業概要	各小学校施設及び設備の補修や整備。現地調査・ヒアリングを行い、緊急度や重要度に応じて実施。			
指標名	R4 実績	R5 実績	達成度	評価
要望対応率	100%	100%	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	当初計画に加え、学校からの要望に対し、即時対応を実施することができた。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	中学校施設補修整備事業			
事業概要	各小学校施設及び設備の補修や整備。現地調査・ヒアリングを行い、緊急度や重要度に応じて実施。			
指標名	R4 実績	R5 実績	達成度	評価
要望対応率	100%	100%	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	当初計画に加え、学校からの要望に対し、即時対応を実施することができた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が 50%以上）			

基本事業（７）英語教育の充実

施策目標	児童・生徒が充実した英語教育を受けています。				
指標名		現状値	目標値	実績値	評価
C E F R の A1 レベル相当又はそれ以上の英語力を有する中学 3 年生の割合		35.9% (R1 年度)	37.0% (R7 年度)	38.1% (R5 年度)	A
関連する事務事業名		外国語教育推進事業			
事業概要	小学校・中学校・公立保育園に英語指導助手・英語活動支援員を派遣する。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
小学校における児童一人あたりの授業実施数		39 時間	39 時間	達成、概ね達成した	A
中学校における生徒一人あたりの授業実施数		70 時間	70 時間		
達成度の評価と説明		小学校・中学校に英語指導助手（A L T）、小学校に英語活動支援員を派遣し、授業を実施した。			
具体的な改善策		特になし			
関連する事務事業名		市立中学校国際交流事業			
事業概要	中学生徒から派遣団員を選考し、現地学校との交流やホームステイを行う。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
事業参加生徒数		13 人	20 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明		市内中学 2 年生 20 名をアメリカに 9 日間派遣し、4 日間のホームステイを実施した。現地中学校との交流を深めるとともに、国際友好都市である RPV 市との交流を行ってきた。			
具体的な改善策		特になし			
総合評価		順調（A 評価が 50% 以上）			

基本施策 4 充実した生涯スポーツ社会の実現

施策の目指す姿

市民が定期的にスポーツや体を動かすレクリエーションを楽しんでいます。

指標名	現状値	目標値	実績値
週 1 回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	33.2% (R2 年度)	34.0% (R7 年度)	34.7% (R5 年度)

基本事業（１）生涯スポーツ活動の充実

施策目標	各種スポーツ教室、大会等が開催され、多くの市民が参加しています。				
指標名		現状値	目標値	実績値	評価
各種スポーツ教室・大会の延べ参加者数		136 千人 (R2 年度)	145 千人 (R7 年度)	87 千人 (R5 年度)	C
関連する事務事業名		各種スポーツ大会、教室開催事業			
事業概要	市民のスポーツ活動の促進及び健康増進を図るため、ニュースポーツ教室、市民ハイキング等の事業を行う。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
各大会等の参加者数		762 人	1, 358 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明		市民が各教室に参加し、スポーツ活動の促進及び健康増進に繋がった。			
具体的な改善策		特になし			
関連する事務事業名		スポーツ大会出場補助事業			
事業概要	市を代表して、全国大会・関東大会等へ出場した選手に対して交通費等を一部補助する。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
全国大会等へ出場費を補助した個人、団体数		52 人	134 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明		開催されたスポーツ大会に出場する個人・団体への支援を行うことにより、さくら市のスポーツ振興発展と競技力向上並びに競技人口の拡大を図ることにつながった。			
具体的な改善策		特になし			
総合評価		順調（A評価が 50%以上）			

基本事業（２）スポーツ施設の整備

施策目標	市民が希望するスポーツ施設が整備され、多くの市民が利用しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
市内の体育施設の年間延べ利用者数	292 千人 (R2 年度)	360 千人 (R7 年度)	264 千人 (R5 年度)	C
関連する事務事業名	氏家体育館管理事業			
事業概要	利用者の安全性、利便性を高めるために維持管理を行う。 日常的な管理作業は、シルバー人材センターに委託している。			
指標名	R4 実績	R5 実績	達成度	評価
利用者数	46,423 人	59,194 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行したこともあり、前年度を上回った。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	さくらスタジアム管理事業			
事業概要	1. 利用時間 9 時～21 時（日曜・祝日は 17 時） 2. 休場日 年末年始 （平成 27 年 10 月 1 日設置）			
指標名	R4 実績	R5 実績	達成度	評価
利用者数	15,314 人	21,141 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行したこともあり、前年度を上回った。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A 評価が 50% 以上）			

基本事業（３）スポーツ団体・指導者の育成

施策目標	指導者が充実し、スポーツ団体の活動が盛んにおこなわれています。				
指標名		現状値	目標値	実績値	評価
スポーツ団体、教室等の指導者数		412 人 (R2 年度)	430 人 (R7 年度)	283 人 (R5 年度)	C
関連する事務事業名		さくら市スポーツ協会補助事業			
事業概要	生涯スポーツの振興と市民の体力向上及び健全なスポーツ精神の育成を図るため、市スポーツ協会が実施する事業に対して補助を行う。				
指標名		R4 実績	R5 実績	達成度	評価
大会のべ参加者数		9,684 人	12,080 人	達成、概ね達成した	A
教室のべ参加者数		44,299 人	64,745 人		
達成度の評価と説明		スポーツ協会への補助を通して、各種大会、教室が開催され、市民スポーツの普及及び健康・体力の維持増進が図られた。令和5年度も新型コロナウイルス感染症により、大会や教室の中止・規模縮小等があった			
具体的な改善策		特になし			
総合評価		順調（A評価が50%以上）			

第5章 総合評価

1 評価

【教育委員会の活動】

- ・教育委員会活動については、小中一貫教育における相互授業参観や市町村教育委員会研究協議会へ参加することにより全国的な事例を研究することで、各課業務の現状や課題についての理解を深めるとともに、委員間での共通認識を図ることができた。これらの取組により、教育委員会会議において教育現場の実態や意向などを踏まえた、充実した議論を行うことができた。また、教育委員会主要事業の進行管理報告や、教育委員会会議における自由討議、各課事業の現状・課題等にかかる意見交換などを積極的に行い、教育委員による教育長及び教育委員会事務局の事務執行にかかるチェック機能の強化を図ることができた。
- ・総合教育会議については、さくら市教育大綱及び教育振興計画の策定を検討することにより、今後のさくら市の教育行政全般の方向性について市長との共通認識を図るとともに、さくら市の教育のさらなる充実に向けて、市長と教育委員会が連携し取り組んでいくことを確認することができた。

【教育委員会施策】

- ・教育委員会施策については、第2次総合計画（後期基本計画）の体系のうち、教育委員会に関係する4つの基本施策とそれを構成する18の基本事業について、本市で実施している行政評価を活用しながら評価した結果、基本施策を構成する17の基本事業について、施策指標の達成度や市民意識調査結果の満足度などで評価される総合評価は「概ね順調」又は「順調」で、計画的に施策事業の推進が図られている。

2 課題と今後の方向性

【教育委員会の活動】

- ・教育委員会活動については、教育委員会会議において教育現場の実態や意向などを踏まえた充実した議論を行っていく必要があることから、時事的な教育課題を捉えながら、教育施設視察や教育懇談会などの充実を図る。また、視察等の実施においては、可能な限り教育委員会会議と同日開催とするなど効果的・効率的な活動に取り組んでいく。
- ・総合教育会議については、第2次総合計画に掲げる「気力・体力・学力 No.1」の実現に向け、市長と教育委員会がより緊密に連携を図り、総合的・横断的な教育行政を推進することが重要であることから、会議を通して協議・調整を行い、より一層の教育行政の充実に努めていく。

【教育委員会施策】

- ・教育委員会施策については、「気力・体力・学力 No.1」の実現に向けて、総合的・体系的に教育行政を行っていくことが必要であることから、ICTの効果的な活用や安心・安全で快適な環境の中で過ごせるように、学校施設の整備など学校教育の推進に取り組むとともに、家庭・地域の教育力の向上、文化振興、生涯スポーツの推進などを図っていくこととする。

第6章 評価委員による所見

1 教育委員会外部評価委員会議

【日程】令和6年12月12日（木）

【結果】

- ・事務局からの本年度の教育委員会評価の概要について説明したのち、「教育委員会活動」、「教育委員会施策」についてご意見を頂いた。
- ・各評価委員からの所見については下記のとおり。

2 評価委員による所見

◇ 長嶋 孝子 委員

（1）総合評価

教育に関する事務の点検・評価報告書を拝見させていただき、不明な個所は会議にて解決することができ、さくら市の子どもたちの体力・学力が伸びている理由等が理解できました。

今後も、さくら市の教育目標である「社会に貢献できる人づくり」には基本理念の一部文言（抜粋）である「小さな努力をこつこつ重ねること」が大切であることを伝え、学校教育では丁寧に対応・育てていくことに取り組まれることを希望します。

（2）教育委員会の活動

教育委員会事務局が学校・社会教育（施設）・スポーツ教育（施設）をしっかりと把握し、問題解決に努めてください。

（3）教育委員会の施策

学校教育・青少年教育・家庭教育・家庭教育支援、それぞれ目標を掲げ、それぞれの分野で対応、努力し、計画的に実行されていると思います。

◇ 高野 美智子 委員

（1）総合評価

さくら市の教育目標である「心身ともに健康で生涯にわたり自己実現し社会に貢献できる人づくり」のため基本事業には首長部局と教育委員会が十分に連絡を取りながら、未来に向けて「さくら市に住んでよかった」と思えるような教育行政を願います。

（2）教育委員会の活動

教育委員会の定例会、臨時会、毎回議案の多い中さくら市の教育行政の重要な事項が

的確に審議されていることが認識されます。今後も、さくら市の教育の充実に向けて施設等の視察や研修等を希望します。

(3) 教育委員会の施策

さくら市の基本施策1～4に基づき基本理念、教育目標の4つのステージに向けて事業が順調に進められていることが確認できます。今後も首長部局と連携しながら生涯学習を行っていくことが必要と思います。

◇ 小林 邦夫 委員

(1) 総合評価

総合的に住みよい「さくら市」のために、教育委員会は十分に機能していると評価します。

(2) 教育委員会の活動

教育は将来への投資であると考えます（特に小、中学生に対する学校教育は）。若い小中学生が明るい展望が持てるさくら市になる様な教育委員会活動を望みます。

(3) 教育委員会の施策

中長期的な視野にたった教育施策を望みます。児童生徒にとっては一生でたった1度だけの小学校中学校教育です。児童生徒のだれもが落ちこぼれることがないのは勿論ですが、それと同時に伸びこぼれのないように学力向上を目指してほしいです。